

野村中国債券ファンド (年2回決算型)

運用報告書(全体版)

第1期(決算日2019年6月13日)

作成対象期間(2019年3月25日～2019年6月13日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2019年3月25日から2024年6月13日までです。
運用方針	中国人民元建ての公社債等への投資効果を追求する投資信託証券を主要投資対象とし、インカムゲインの確保と信託財産の成長を目標に運用を行います。 中国関連の発行体が発行する公社債等を実質的な投資対象とする投資信託証券を複数選定し、投資を行います。投資信託証券への投資にあたっては、別に定める投資信託証券の一部もしくは全てに投資を行うことを基本とします。投資する投資信託証券は、投資対象市場の動向等を勘案して適宜見直しを行います。
主な投資対象	中国人民元建ての公社債等への投資効果を追求する投資信託証券を主要投資対象とします。なお、コマーシャル・ペーパー等の短期有価証券ならびに短期金融商品等に直接投資する場合があります。
主な投資制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104
(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時



ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率	純 資 産 額
		税 分 配	達 期 騰 落 率				
(設定日) 2019年3月25日	円 10,000	円 —	% —	% —	% —	% —	百万円 191
1期(2019年6月13日)	9,706	0	△2.9	23.5	—	74.3	185

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

*当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準	価額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率			
(設定日) 2019年3月25日	円 10,000	% —	% —	% —	% —	% —
3月末	10,012	0.1	24.1	—	74.3	
4月末	10,100	1.0	23.9	—	74.5	
5月末	9,711	△2.9	23.6	—	74.6	
(期 末) 2019年6月13日	9,706	△2.9	23.5	—	74.3	

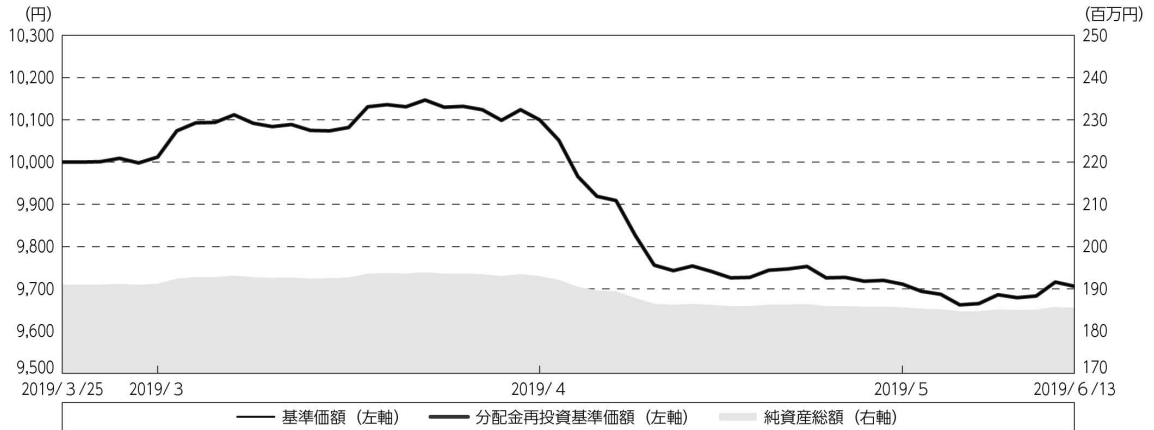
*騰落率は設定日比です。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



設定日：10,000円

期末：9,706円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：△2.9%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

* 基準価額は2.94%の下落（課税前分配金を決算日に再投資したと仮定して計算。）

基準価額は、設定時の10,000円から当作成期末9,706円となりました。今期は分配金をお支払いしませんでした。

(上昇要因)

- ・債券を保有していたことによるインカムゲイン（利息収入）。
- ・米国債利回りの低下を受けて保有する米ドル建て債券の価格が上昇したこと。

(下落要因)

- ・人民元が対円で下落したこと。

○投資環境

中国の人民元建て債券市場では、当作成期間に国債利回りが上昇（価格は下落）しました。中国では、米中通商協議の進展期待が高まったことや、中国人民銀行が金融緩和措置のペースを緩める公算が大きいとの見方が強まったことなどを背景に、設定時から2019年4月後半にかけて利回りは上昇しました。その後、米中貿易摩擦が再び激化したことを受けて、中国当局の追加緩和策への期待が広がったことなどが要因となり中国の国債利回りは低下しましたが、当作成期間を通じては上昇しました。

中国の米ドル建て社債市場では、米国債の利回りの低下が中国企業のクレジットスプレッド（米国債との利回り格差）の拡大を上回ったことから、社債利回りは低下しました。米国債利回りは、5月に米国が中国に対して一部製品の関税率を引き上げたことで米中貿易摩擦への懸念が高まったことなどを背景に低下しました。クレジットスプレッドは、米政府が中国のテクノロジー企業に対する禁輸措置を講じたことなどを背景に、テクノロジー企業を中心に拡大しました。

為替市場は、米国が中国に対して一部製品の関税率引き上げを発動する中で中国人民元は対米ドルで下落した一方で、日本円はリスク回避的な動きが強まる中で対米ドルで上昇したため、中国人民元は対円で下落しました。

○当ファンドのポートフォリオ

[野村中国債券ファンド（年2回決算型）]

[野村中国債券ファンド（年2回決算型）] は、[ノムラ・セレクション・ファンドーチャイナ・ボンド・ファンドークラスCNY] 受益証券および [中国人民元建債券マザーファンド] 受益証券を投資対象とするファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。

当作成期間においては、[ノムラ・セレクション・ファンドーチャイナ・ボンド・ファンドークラスCNY] 受益証券および [中国人民元建債券マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れました。

[ノムラ・セレクション・ファンドーチャイナ・ボンド・ファンドークラスCNY]

中国関連の発行体[※]が発行する米ドル建ての公社債等（国債、ソブリン債（含む国際機関債）、準ソブリン債、社債等）を主要投資対象とし、インカムゲインの確保と信託財産の成長を目標に運用を行ないました。ポートフォリオのデュレーションは、3～7年程度の水準に維持しました。米ドル建て資産について、米ドル売り・人民元買いの為替取引を行ないました。

※当ファンドにおいて「中国関連の発行体」とは、中国政府、中国の企業、およびその子会社や関連会社、金融子会社等、ならびに、事業を通じて中国と関連があると投資顧問会社が判断する発行体（アジア開発銀行、国際復興開発銀行等の国際機関を含みます。）のことを指します。

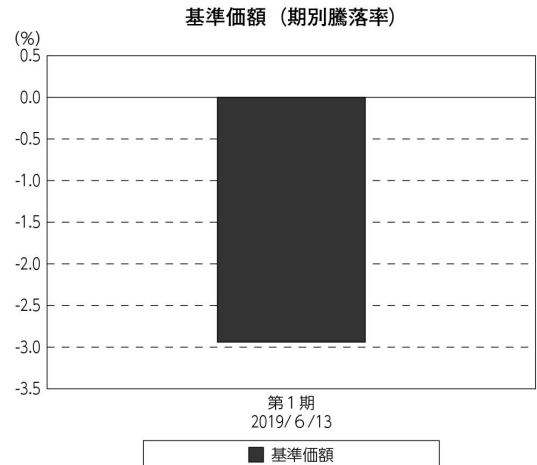
[中国人民元建債券マザーファンド]

資金動向、市況動向、投資環境を鑑みながら、人民元建ての公社債等への投資を通じて、インカムゲインの確保と信託財産の成長を目標に運用を行ないました。ポートフォリオのデュレーションは、3～5年程度の水準に維持しました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

◎分配金

分配金につきましては基準価額水準等を勘案して、お支払いしませんでした。なお留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項目	第1期
	2019年3月25日～ 2019年6月13日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	44

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎今後の運用方針

[ノムラ・セレクション・ファンドーチャイナ・ボンド・ファンドークラスCNY]

中国関連の発行体が発行する米ドル建ての公社債等（国債、ソブリン債（含む国際機関債）、準ソブリン債、社債等）を主要投資対象とし、インカムゲインの確保と信託財産の成長を目標に運用を行ないます。ポートフォリオのデュレーションは、原則として8年以内に維持することを基本とします。米ドル建て資産について、原則として、米ドル売り・人民元買いの為替取引を行ないます。

なお、当ファンドは証拠金規制に則り、規制対象取引の評価損益について取引の相手方と証拠金の授受を行なう場合があります。

[中国人民元建債券マザーファンド]

資金動向、市況動向、投資環境を鑑みながら、人民元建ての公社債等への投資を通じて、インカムゲインの確保と信託財産の成長を目標に運用を行ないます。ポートフォリオのデュレーションは、原則として8年以内に維持することを基本とします。

[野村中国債券ファンド（年2回決算型）]

[ノムラ・セレクション・ファンドーチャイナ・ボンド・ファンドークラスCNY] および [中国人民元建債券マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、インカムゲインの確保と信託財産の着実な成長をはかります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

※店頭デリバティブ取引に関する国際的な規制強化について

店頭デリバティブ取引等の金融取引に関して、国際的に規制の強化が行われており、ファンドが実質的に活用する当該金融取引が当該規制強化等の影響をうけ、当該金融取引を行うための担保として現金等を提供する必要がある場合があります。その場合、追加的に現金等を保有するため、ファンドの実質的な主要投資対象の組入比率が下がり、高位に組入れた場合に期待される投資効果が得られないことが想定されます。また、その結果として、実質的な主要投資対象を高位に組入れた場合と比べてファンドのパフォーマンスが悪化する場合があります。

○1万口当たりの費用明細

（2019年3月25日～2019年6月13日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 32	% 0.320	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(17)	(0.167)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(14)	(0.143)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.010)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	0	0.005	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益口数
（ 保 管 費 用 ）	(0)	(0.001)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.000)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.003)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	32	0.325	
期中の平均基準価額は、9,941円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2019年3月25日～2019年6月13日）

投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国 内	ノムラ・セレクション・ファンド・チャイナ・ボンド・ファンド・クラスCNY	口 14,201	千円 142,095	口 —	千円 —

* 金額は受け渡し代金。

* 金額の単位未満は切り捨て。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
中国人民元建債券マザーファンド	千口 47,500	千円 47,500	千口 —	千円 —

*単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2019年3月25日～2019年6月13日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○自社による当ファンドの設定、解約状況

(2019年3月25日～2019年6月13日)

設定時残高 (元本)	当期設定 元本	当期解約 元本	期末残高 (元本)	取引の理由
百万円 191	百万円 —	百万円 —	百万円 191	当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2019年6月13日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄	当期末		
	口数	評価額	比率
ノムラ・セレクション・ファンド-チャイナ・ボンド・ファンド-クラスCNY	口 14,201	千円 137,905	% 74.3
合 計	14,201	137,905	74.3

*比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

*評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託残高

銘柄	当期末	
	口数	評価額
中国人民元建債券マザーファンド	千口 47,500	千円 45,538

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

（2019年6月13日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	137,905	74.1
中国人民元建債券マザーファンド	45,538	24.5
コール・ローン等、その他	2,687	1.4
投資信託財産総額	186,130	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*中国人民元建債券マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産（90,194千円）の投資信託財産総額（91,072千円）に対する比率は99.0%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1オフショア人民元=15.66円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2019年6月13日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	186,130,302
コール・ローン等	2,686,141
投資信託受益証券(評価額)	137,905,911
中国人民元建債券マザーファンド(評価額)	45,538,250
(B) 負債	603,097
未払信託報酬	602,217
未払利息	4
その他未払費用	876
(C) 純資産総額(A-B)	185,527,205
元本	191,147,145
次期繰越損益金	△ 5,619,940
(D) 受益権総口数	191,147,145口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,706円

(注) 期首元本額は191,000,000円、期中追加設定元本額は147,145円、期中一部解約元本額は0円、1口当たり純資産額は0.9706円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額62,606円。(中国人民元建債券マザーファンド)

○損益の状況（2019年3月25日～2019年6月13日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,133,411
受取配当金	1,136,080
支払利息	△ 2,669
(B) 有価証券売買損益	△6,150,985
売買損	△6,150,985
(C) 信託報酬等	△ 603,093
(D) 当期損益金(A+B+C)	△5,620,667
(E) 追加信託差損益金	727
(配当等相当額)	(35)
(売買損益相当額)	(692)
(F) 計(D+E)	△5,619,940
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	△5,619,940
追加信託差損益金	727
(配当等相当額)	(132)
(売買損益相当額)	(595)
分配準備積立金	858,591
繰越損益金	△6,479,258

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程（2019年3月25日～2019年6月13日）は以下の通りです。

項 目	当 期
	2019年3月25日～ 2019年6月13日
a. 配当等収益(経費控除後)	858,591円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	132円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	0円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	858,723円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	44円
g. 分配金	0円
h. 分配金(1万口当たり)	0円

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	0円
----------------	----

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金(特別分配金)となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

中国人民元建債券マザーファンド

運用報告書

第1期（決算日2019年6月13日）

作成対象期間（2019年3月25日～2019年6月13日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	中国関連の発行体が発行する中国人民元建ての公社債等（国債、ソブリン債（含む国際機関債）、準ソブリン債、社債等）を主要投資対象とし、インカムゲインの確保と信託財産の成長を目標に運用を行います。
主な投資対象	中国関連の発行体が発行する中国人民元建ての公社債等（国債、ソブリン債（含む国際機関債）、準ソブリン債、社債等）を主要投資対象とします。
主な投資制限	外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。 株式への投資は、転換社債を転換および新株予約権（転換社債型新株予約権付社債の新株予約権に限り、）を行使したものおよび社債権者割当等により取得したものに限り、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の5%以内とします。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	騰 落 率	中 率			
(設定日) 2019年3月25日	円 10,000	% —	% —	% —	百万円 95
1期(2019年6月13日)	9,587	△4.1	95.9	—	91

*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

*当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

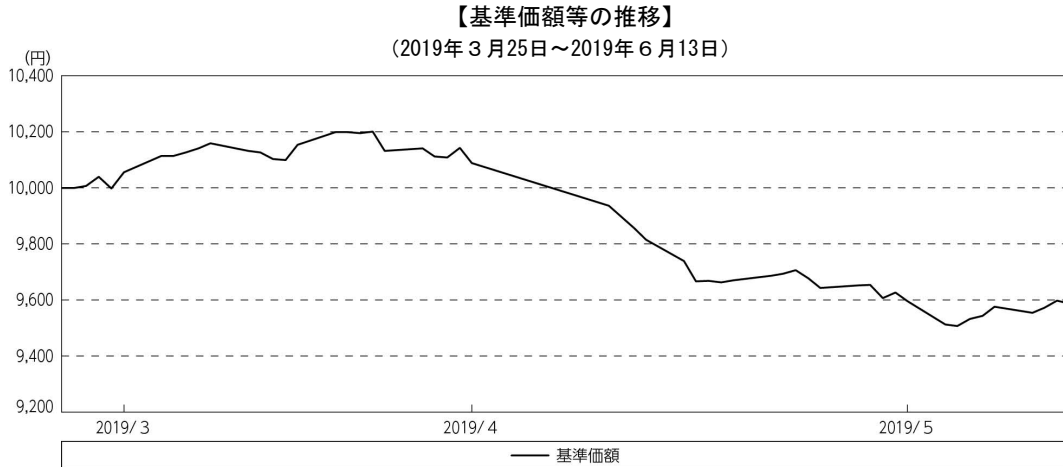
年 月 日	基 準 価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	騰 落 率	中 率			
(設定日) 2019年3月25日	円 10,000	% —	% —	% —	—
3月末	10,056	0.6	96.6	—	—
4月末	10,088	0.9	96.3	—	—
5月末	9,595	△4.1	96.0	—	—
(期 末) 2019年6月13日	9,587	△4.1	95.9	—	—

*騰落率は設定日比です。

*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



○基準価額の主な変動要因

* 基準価額は4.13%の下落

基準価額は、設定時の10,000円から期末9,587円となりました。基準価額の値下がり額は413円となりました。

(上昇要因)

- ・債券を保有していたことによる利息収入。

(下落要因)

- ・人民元が対円で下落したこと。

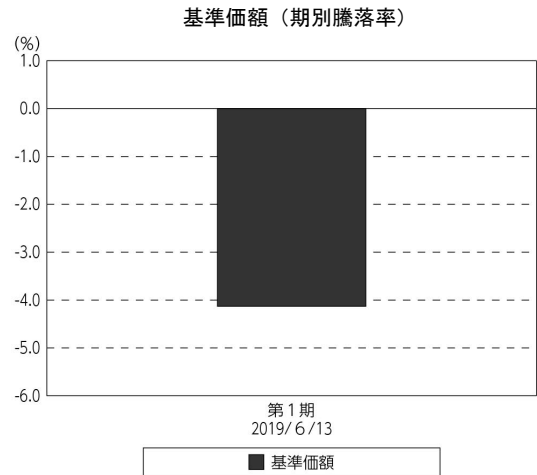
○当ファンドのポートフォリオ

資金動向、市況動向、投資環境を鑑みながら、人民元建ての公社債等への投資を通じて、インカムゲインの確保と信託財産の成長を目標に運用を行ないました。ポートフォリオのデュレーションは、3～5年程度の水準を維持しました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



○今後の運用方針

資金動向、市況動向、投資環境を鑑みながら、人民元建ての公社債等への投資を通じて、インカムゲインの確保と信託財産の成長を目標に運用を行ないます。ポートフォリオのデュレーションは、原則として8年以内に維持することを基本とします。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○1万口当たりの費用明細

(2019年3月25日～2019年6月13日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(0)	(0.004)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(1)	(0.014)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	2	0.018	
期中の平均基準価額は、9,913円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2019年3月25日～2019年6月13日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	中国オフショア	国債証券	千オフショア人民元 5,608	千オフショア人民元 -

*金額は受け渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

*単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2019年3月25日～2019年6月13日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2019年6月13日現在)

外国公社債

(A) 外国（外貨建）公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
中国オフショア	千オフショア人民元 5,500	千オフショア人民元 5,576	千円 87,330	% 95.9	% —	% 25.8	% 70.1	% —
合 計	5,500	5,576	87,330	95.9	—	25.8	70.1	—

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国（外貨建）公社債 銘柄別開示

銘 柄		当 期 末				
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
中国オフショア		%	千オフショア人民元	千オフショア人民元	千円	
国債証券	CHINA GOVERNMENT BOND	3.36	2,000	2,018	31,613	2022/5/21
	CHINA GOVERNMENT BOND	3.8	2,000	2,055	32,183	2023/7/9
	CHINA GOVERNMENT BOND	3.38	1,500	1,502	23,533	2026/7/4
合 計					87,330	

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2019年6月13日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 87,330	% 95.9
コール・ローン等、その他	3,742	4.1
投資信託財産総額	91,072	100.0

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 当期末における外貨建て純資産（90,194千円）の投資信託財産総額（91,072千円）に対する比率は99.0%です。

* 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1オフショア人民元=15.66円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年6月13日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	91,072,090
コール・ローン等	2,821,971
公社債(評価額)	87,330,378
未収利息	484,861
前払費用	434,880
(B) 負債	1
未払利息	1
(C) 純資産総額(A-B)	91,072,089
元本	95,000,000
次期繰越損益金	△ 3,927,911
(D) 受益権総口数	95,000,000口
1万口当たり基準価額(C/D)	9.587円

(注) 期首元本額は95,000,000円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は0円、1口当たり純資産額は0.9587円です。
 (注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額
 ・野村中国債券ファンド(毎月分配型) 47,500,000円
 ・野村中国債券ファンド(年2回決算型) 47,500,000円

○損益の状況 (2019年3月25日～2019年6月13日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	640,718
受取利息	641,234
支払利息	△ 516
(B) 有価証券売買損益	△4,551,578
売買損	△4,551,578
(C) 保管費用等	△ 17,051
(D) 当期損益金(A+B+C)	△3,927,911
(E) 計(D)	△3,927,911
次期繰越損益金(E)	△3,927,911

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

○お知らせ

該当事項はございません。

<お申し込み時の留意点>

販売会社の営業日であってもお申し込みの受付ができない日（以下「申込不可日」といいます。）があります。

お申し込みの際には、これらの申込不可日に該当する日をご確認のうえ、お申し込みいただきますようよろしくお願いいたします。

(2019年6月13日現在)

年 月	日
2019年6月	—
7月	1、4
8月	9、15
9月	2、13、25、26、27、30
10月	1、2、3、4、7、28
11月	1、11、28
12月	24、25、26

※2019年12月までに該当する「申込不可日」を現時点で認識しうる情報をもとに作成しておりますが、諸事情等により突然変更される場合があります。

したがって、お申し込みにあたってはその点についても十分ご留意下さい。また、諸事情等による申込不可日の変更は、販売会社に連絡いたしますので、お問い合わせ下さい。

なお、弊社ホームページ (<http://www.nomura-am.co.jp/>) にも掲載いたしております。